

## 札幌と東京のふりかえり会

札幌・東京在住の本町出身者で組織される「ふるさと会」の総会が、それぞれ開催されました。

6月4日、札幌市で開催された「札幌上ノ国ふるさと会（福島久平会長）」では、会員約40名と、本町から工藤町長や議会議員、一般町民が参加しました。

会場では、おなじみとなっている特産品販売や出身地区上空の空撮動画なども上映され好評だったほか、カラオケやビンゴ大会も行われ、同級生や同郷の方々が楽しみながら交流されていました。

6月18日には、「東京かみのくに会（倉谷久会長）」の会員約60名が夷王山まつりに合わせて来町し、例年東京で行っている総会を本町にて開催しました。

総会終了後、町主催による歓迎祝賀会が行われ、町民参加者・関係者を含めると約180名が出席。出身者が遠く東京からやって



来るということもあり、「おもてなし」をテーマに、様々な趣向を凝らした内容となりました。

料理では、上ノ国町女性団体連絡協議会（品田俊子会長）の協力を得て「いちご煮」「ほっけのすり身汁」といった昔懐かしい浜の料理や、「サケ・ホッケの飯寿司」「カスベの唐揚げ」などの町内特産品をふんだんに使った豪華なものとなりました。

また、余興として江差追分全国大会優勝者で町内出身者でもある菊池勲さん（江差町在住）による追分講演や、ふるさと会会員でシンガーの上野聡さん（東京都に住）による旧J.R.江差線や上ノ国をテーマにした歌が披露されたほか、参加者全員で上ノ国音頭を踊ってこの日は幕を閉じました。

翌日の夷王山まつりにも足を運んだ東京かみのくに会の方々は、3日間の滞在の後に故郷上ノ国をあとにしました。

## ばん馬の土煙！響く歌声！夷王山まつり開催

6月19日、夷王山まつりが開催され、多くの人出で賑わいました。前日の宵宮祭では、昨年ドクガの影響で中止となった松明行列が無事実施され、参加した児童たちが赤々と燃える松明を手に、夷王山神社までの道のりを登りました。本祭当日の催しでは、例年好評となっているばんば大会や郷土芸能である龍焰太鼓、演歌歌手の石原詢子さんによる歌謡ショーなどが行われ、夷王山神社では、恒例の神楽舞や空手少年団による奉納演武などを見ることができました。また、出店には飲食物を求める多くの来場者が訪れ、揚げ物から特製カレーライス、昔懐かしいかたもちなどが好評を博し、見所味がいっぱい満載の夷王山まつりとなりました。



## 町制施行50周年記念バレーボール教室

5月28日、本町が今年で町制施行50年を迎えることを記念したバレーボール教室が町民体育館で開催され、上ノ国夷王ジュニアや上中バレー部のほか、渡島檜山の小学生約100名が参加しました。講師には、Vプレミアリーグに所属する「トヨタ車体クインシーズ」の泉川正幸監督をはじめ、竹田沙希主将、竹内彩選手、藤田夏未選手の4名を招き、参加した児童たちはトップリーグで活躍する選手による指導に目を輝かせていました。

選手による指導は6時間にわたって行われ、児童たちは選手と触れ合いつつ、技術的指導を受け、時には笑い時に真剣な表情で、選手から何かを吸収しようとしていました。

